

## 聖霊降臨後第10主日特禱（特定12）

永遠にいます全能の神よ、あなたは常にわたしたちの祈りに先立って聞き、わたしたちが願うよりも多く与えようとしておられます。どうか豊かな恵みを注ぎ、わたしたちを赦して良心の恐れを除き、あえて願えない良いものを与えてください。み子イエス・キリストのいさおととりなしによってお願いいたします。 **アーメン**

## 旧約聖書 旧約聖書 列王記下 2章1－15節

2:1 主がエリヤをつむじ風で天に上げられたときのことである。エリヤはエリシャと共にギルガルから出て行った。2 エリヤがエリシャに、「主は私をベテルまで遣わされるが、あなたはここにとどまっていなさい」と言うと、エリシャは、「主は生きておられ、あなたご自身も生きておられます。私はあなたを離れません」と答えた。それで彼らはベテルに下って行った。3 この時、ベテルにいる預言者の仲間が、エリシャのもとに出て来て言った。「今日、主があなたの主人を、あなたから取り去ろうとしておられるのを知っていますか。」するとエリシャは、「私もそのことは知っています。しかし黙っててください」と答えた。4 エリヤが、「主は私をエリコに遣わされるが、エリシャよ、あなたはここにとどまっていなさい」と言うと、エリシャは、「主は生きておられ、あなたご自身も生きておられます。私はあなたを離れません」と答えた。それで彼らはエリコにやって来た。5 この時、エリコにいる預言者の仲間が、エリシャに近寄って来て言った。「今日、主があなたの主人を、あなたから取り去ろうとしておられるのを知っていますか。」するとエリシャは、「私もそのことは知っています。しかし黙っててください」と答えた。6 エリヤはエリシャに、「主は私をヨルダン川へ遣わされるが、あなたはここにとどまっていなさい」と言った。エリシャは、「主は生きておられ、あなたご自身も生きておられます。私はあなたを離れません」と答えた。それで二人は出かけて行った。7 預言者の仲間五十人も付いて行ったが、二人がヨルダン川のほとりで立ち止まると、彼らも遠く離れて立ち止まった。8 エリヤが自分の外套を取り、丸めて水を打つと、水は左右に分かれた。そこで二人は乾いた所を渡って行った。9 彼らが渡ったとき、エリヤはエリシャに言った。「私があるあなたのもとから取り去られる前に、あなたのために何ができるだろうか。何なりと願いなさい。」エリシャが、「どうかあなたの霊の二倍の分け前をくださいますように」と言うと、10 エリヤは答えた。「あなたは難しい願いをするものだ。私があるあなたのもとから取り去られるのを見るならば、そのようになるであろう。しかし見なければ、そのようにはならないであろう。」11 彼らが話しながら歩き続けていると、火の戦車と火の馬が二人の間を隔て、エリヤはつむじ風の中を天に上って行った。12 エリシャはそれを見て、「わが父よ、わが父よ、イスラエルの戦車よ、その騎兵よ」と叫んだ。しかしエリヤはもはや見えなかった。彼は自分の衣をつかんで、二つに引き裂いた。

13 エリシャは、エリヤの身から落ちた外套を拾い上げ、引き返してヨルダン川の岸边に立ち止まった。14 彼はエリヤの身から落ちた外套を手にとって、水を打ち、「エリヤの神、主はどこにおられますか」と言った。彼が水を打ったときも、水は左右に分かれ、エリシャは渡って行った。15 エリコの預言者の仲間は、離れた所からエリシャを見ていて、「エリヤの霊がエリシャの上にとどまっている」と言った。彼らはエリシャを迎えに来て、その前で地にひれ伏した。

## 詩 編 第 1 1 4 篇

- 1 イスラエルがエジプトを出て // ヤコブの家が言葉の違う民から離れたとき
- 2 ユダは神の聖地となり // イスラエルは神の国土となった
- 3 海はこれを見て退き // ヨルダンは流れを戻した
- 4 山は雄羊のように躍り上がり // 丘は小羊のように喜び踊った
- 5 海よ、どうして退くのか // ヨルダンよ、どうして流れを戻すのか
- 6 山よ、どうして雄羊のように躍り上がり // 丘よ、どうして小羊のように喜び踊るのか
- 7 地は神の前に // ヤコブの神の前におののけ
- 8 神は岩の流れに // 石を泉に変えられた

### 使徒書 エフェソの信徒への手紙 4章1節—7節、11節—16節

4:1 ですから、主の囚人である私は、あなたがたに勧めます。招かれたあなたがたは、その招きにふさわしく歩み、2 謙遜と柔和の限りを尽くし、寛容を示し、愛をもって互いに耐え忍び、3 平和の絆で結ばれて霊による一致を保つよう熱心に努めなさい。4 体は一つ、霊は一つです。それは、あなたがたが、一つの希望にあずかるようにと招かれたのと同じです。5 主は一人、信仰は一つ、洗礼(バプテスマ)は一つです。すべてのものの父なる神は唯一であって、すべてのものの上におられ、すべてのものを貫き、すべてのもののおられます。7 しかし、私たち一人一人に、キリストの賜物の秤に従って、恵みが与えられています。

11 そして、ある人を使徒、ある人を預言者、ある人を福音宣教者、ある人を牧者、教師としてお与えになりました。12 こうして、聖なる者たちを整えて奉仕の働きをさせ、キリストの体を造り上げ、13 ついには、私たちすべてが、信仰と神の子の知識において一つとなり、完全な者となって、キリストの満ち溢れる成熟した年齢に達するのです。14 こうして、私たちはもはや子どもではなくなり、人の悪だくみや、だまし惑わす策略によるどのような教えの風にも弄ばれたり、振り回されたりすることなく、15 愛をもって真理を語り、頭であるキリストへとあらゆる点で成長していくのです。16 キリストによって、体全体は、支えとなるすべての節々でつなぎ合わされ、一つに結び合わされて、それぞれの部分は分に応じて働いて、体を成長させ、愛の内に造り上げられてゆくのです。

### 福音書 マルコによる福音書 6章45節—52節

6:45 それからすぐ、イエスは弟子たちを強いて舟に乗せ、向こう岸のベトサイダへ先に行かせ、その間にご自分は群衆を解散させられた。46 そして、群衆と別れると、祈るために山へ行かれた。47 夕方になった頃、舟は湖の真ん中に出ており、イエスだけが陸地におられた。48 イエスは、逆風のために弟子たちが漕ぎ悩んでいるのを見て、夜明け頃、湖の上を歩いて弟子たちのところへ行き、そばを通り過ぎようとされた。49 弟子たちは、イエスが湖の上を歩いておられるのを見て、幽霊だと思い、叫び声を上げた。50 皆はイエスを見ておびえたのである。しかし、イエスはすぐに彼らと話をし、「安心しなさい。私だ。恐れることはない」と言われた。51 イエスが舟に乗り込まれると、風は静まった。弟子たちは心の中で非常に驚いた。52 パンのことを悟らず、心がかたくなになっていたからである。